

◆地域おこし協力隊員を募集します！

三戸町の特性を活かし、町を元気にする仲間を募集します。新たな視点で地域住民と協力し、活動に取り組む熱意のある人をお待ちしています。

○募集内容と人数

①さんのへまち魅力発信ミッション【1名】

SNSや動画配信による町の情報発信。

②三戸高等学校魅力化ミッション【1名】

三戸高校の魅力をさらに高め、生徒の夢と学びを支える活動。

③観光振興ミッション【1名】

観光協会の一員として、イベントの運営や企画など

○募集期間 11月28日(金)まで

○面接日 12月上旬

○任用開始日 令和8年4月1日

○問合せ 三戸町まちづくり課

TEL：22-1117



詳細はこちら

◆令和8年度保育所・認定こども園など 利用申込みの受付をはじめます

施設種別	施設名	受付
保育所	三戸保育園	【期間】 11月10日(月)～ 12月12日(金) ※土日祝日を除く
認定こども園	ミューズ保育園 (保育部分)	【時間】 8時15分～17時
	いずみ幼稚園 (保育部分)	【申請書類の配布・ 申込み場所】
児童館	斗川児童館 (保育部分)	新規入所 →住民福祉課 継続入所 →各施設

※ミューズ保育園・いずみ幼稚園の幼稚園部分に係る新規・継続入所については、申請書類の配布および申込みを各施設で行います。

○利用要件

三戸町に居住する小学校就学前の子どもで、保

護者が仕事(家庭内・外)をしている場合や保護者が妊娠中または出産後間もない場合などの理由により、家庭で保育できない場合に限りです。詳細はお問い合わせください。

※入所決定は、通常、申請後30日以内に行いますが、次年度4月1日からの入所については、新規および継続入所全員分の審査を行うため、決定までに時間を要します。決定通知書の送付は1月下旬を予定していますので、あらかじめご了承ください。

○問合せ 三戸町住民福祉課 TEL：20-1151

◆三戸町奨学奨励金を交付します

令和6年度(令和6年4月～令和7年3月)に返還した奨学金の返還金額を奨励金として交付します。

以下の要件を全て満たす人が対象です。

①三戸町から奨学金を借りて進学した人

②「奨学金の返還の開始」または「三戸町への転入」が、平成28年4月1日以降で、令和7年10月1日時点で三戸町に居住しており、今後も居住する見込みのある人

③奨学金の返還期限までに返還している人

(期限を過ぎてからの返還が1月でもある場合、対象となりません。)

④町税や保険料などを滞納していない人

○申請締切 12月26日(金)まで

○申請・問合せ

三戸町まちづくり課

TEL：22-1117



詳細はこちら

◆認知症専門相談のお知らせ

最近、物忘れが多くなってきた、ご自身やご家族が認知症ではないか、介護について悩んでいるなど、認知症に関する相談をお受けします。

○日時 11月17日(月) 9時～12時

○場所 保健センター集団指導室

※事前申込をお願いいたします。

○問合せ 三戸町健康長寿課 TEL：20-1153

◆青の煌(きら)めきあおもり障スポリハーサル大会申込受付開始について

令和8年10月に開催する「青の煌めきあおもり障スポ」に向けて、競技運営、審判技術などの向上を図るとともに、大会に対する県民の理解と関心を高めるため、「青の煌めきあおもり障スポリハーサル大会」を開催します。開催にあたり、大会参加申込の受付を開始しました。

○大会期日 令和8年5月30日(土)～31日(日)

○申込方法 HPから様式をダウンロードし、お申込みください

○申込先 個人競技：特別支援学校および市町村障がい者スポーツ担当課

○申込締切 12月12日(金)まで

※個人競技は宮崎障スポの青森県選手選考、団体競技は「第25回全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会」を兼ね、青森県代表チームが出場します。

○問合せ

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局

TEL：017-734-9185



HPはこちら

◆母子(父子・寡婦)家庭への就学支度資金、修学資金貸付相談について

令和8年4月に高校・大学などに進学する子のいる母子(父子・寡婦)家庭への就学支度資金・修学資金予約貸付の申請受付をします。

申請前に貸付条件などの説明を行いますので、電話連絡の上、来所してください。(1時間程度)

○申請受付期間

11月4日(火)～令和8年1月30日(金)

○問合せ 青森県三戸福祉事務所 福祉調整課

TEL：0178-27-5111(内線347)

FAX：0178-27-4509

◆連携中枢都市圏の取り組みを紹介します

八戸圏域の8市町村(八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町)では、結婚を希望する方の出会いの場を創出するため、婚活イベントを合同開催しています。イベントでは、圏域内に在住または在勤する方々との素敵な出会いや交流が期待できます。

イベントは年2回程度実施しており、本年度の開催日程は決まり次第、各市町村の広報誌やウェブサイトでお知らせします。興味のある方はぜひお

申し込みください。

○問合せ 政策推進課(連携中枢都市圏全般について)

TEL：0178-43-9248

子育て支援課(事業について)

TEL：0178-43-9342

結婚支援関連 HP



◆恋するゆるっとスポーツデーのお知らせ

運動が苦手な人でも大丈夫！気軽にゆる～く楽しめる婚活イベントです。

○開催日 11月29日(土)

○募集人数 100名(男性50名、女性50名)

※申込み多数の場合は抽選により決定

○参加資格 八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町新郷村、おいらせ町のいずれかに在住・在勤または移住を予定・希望している20歳から49歳までの独身男女

○申込み (株)エフエム青森のホームページから

○申込締切 11月19日(水) 18時まで

○問合せ (株)エフエム青森

TEL：0178-24-2150



申込はこちら

◆困ったときは「消費者ホットライン」へ

商品やサービスの契約トラブル、悪質商法などでお困りのときは、一人で悩まずにご相談ください。契約やトラブルのご相談は、お早めに！

○消費者ホットライン 電話：188(いやや！)

お近くの消費生活センターにつながります。

○八戸市消費生活センター

受付日時：月～金曜(祝日・年末年始を除く) 9時～16時

電話：0178-43-9216

◆青森県最低賃金改定のお知らせ

青森県最低賃金が改定されます。金額は次のとおりです。また、青森県最低賃金は、青森県内で働く全ての労働者に適用されます。詳細は、青森労働局ホームページからもご覧になれます。

○時間額 1,029円

(令和7年11月21日から)

○問合せ

青森労働局労働基準部賃金室

TEL：017-734-4114



詳細はこちら

◆RAB ラジオは AM から FM へ

青森放送を含む全国の多くの民放 AM ラジオ局は 2028 年秋までに FM 局への転換を予定しています。災害時の命を守る情報の伝達やビルが林立して聴きづらい都市型難聴を解消する「放送ネットワーク強化」のためです。RAB ラジオは 2026 年 1 月から AM ラジオ放送の運用を休止し、FM 放送とインターネットラジオ「radiko」を通じてラジオ番組を県内全域にお届けします。青森放送の FM 局は、八戸・十和田地区（92.7MHz）でお聴きいただけます。

休止する AM 局と日時は、八戸局（1485kHz・2 月 8 日～）です。

○問い合わせ専用ダイヤル

TEL：017-752-8402

（平日 11 時～12 時、

13 時～16 時）



詳細はこちら

◆浄化槽を正しく使いましょう

浄化槽は、微生物のはたらきで、台所や風呂、洗濯などの生活排水やトイレの排水を浄化する装置です。正しく維持管理をしないと、本来の機能が発揮できず、川や海などの水質を悪化させる原因となります。浄化槽の維持管理は、次の 3 点が法律で義務付けられています。

①保守点検

浄化槽の修理、調整・点検（年に 3～4 回）

②清掃

浄化槽内部の汚泥の引き出しや装置の洗浄（年 1 回以上）

③法定検査

浄化機能が十分に発揮されているか確認するための水質検査（使用開始時に 1 回、その後年 1 回）

※浄化槽の使用を開始したときや、使用を休止又は廃止（撤去）したとき、管理者が変更になったときなどには、県への報告・届出が必要となります。

○問合せ

【保守点検、届出など】八戸環境管理事務所
TEL：0178-27-5111

【法定検査】一般社団法人青森県浄化槽検査センター
TEL：017-726-9500

◆事業主の皆様へ 従業員の個人住民税は「特別徴収」が義務づけられています

所得税の源泉徴収義務がある事業主は、個人住

民税についても事業主が従業員に代わり毎月支払う給与から税額を引き去りして納める「特別徴収」が義務づけられています。

事業主は、対象となる従業員の分について、来年 1 月末までに、給与支払報告書を「特別徴収」として町に提出してください。

県と町では、個人住民税の特別徴収制度の周知と徹底に取り組んでいます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

○対象 前年中に給与の支払いを受け、かつ当年の 4 月 1 日において給与の支払いを受けている従業員

○問合せ 青森県三八県税事務所 納税管理課

TEL：0178-27-5111（内線：205）

◆「119 番の日」のお知らせ

11 月 9 日は「119 番の日」です。日本では、119 番に電話をかけると、緊急時に消防車や救急車を呼ぶことができます。「火事」「救急」「救助」等のとき、「あわてず、安全な場所から正確に」通報することが、人命や財産を守る決め手になります。

【119 番のかけ方のポイント！】

通報は、必ず自分の安全を確認してから 119 番通報する。係員が聞いた事に落ち着いて答えてください。

・火事の場合

①燃えているものは？ ②場所（住所または目標となる建物）は？ ③けが人、逃げ遅れは？

・救急、救助の場合

①事故か、急病人か ②場所（住所または目標となる建物）は？ ③傷病者の容態（性別、年齢、意識状態等）、人数、状況は？

※問い合わせに 119 番を利用しないでください。

「消防車のサイレンが聞こえますが、どこで何が起こっているのですか？」などといった問い合わせの電話が 119 番で寄せられます。119 番の回線数は限られているため、消防車、救急車が必要な方の通報が繋がらないことがあります。119 番は緊急回線ですので、災害発生時や救急車が必要な時のみ使用して下さい。

お問い合わせの場合は、消防情報案内（050-5536-5985）までおかけください。

○問合せ 消防本部指令救急課（指令センター）

TEL：0178-44-2135

FAX：0178-46-1171